【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第６部門第２区分
【発行日】平成27年8月6日(2015.8.6)

【公開番号】特開2013-3590(P2013-3590A)
【公開日】平成25年1月7日(2013.1.7)
【年通号数】公開・登録公報2013-001
【出願番号】特願2012-138289(P2012-138289)
【国際特許分類】
Ｇ０３Ｈ　1/02　(2006.01)
Ｇ１１Ｂ　7/244　(2006.01)
Ｇ１１Ｂ　7/24035　(2013.01)
Ｇ０３Ｈ　1/26　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｇ０３Ｈ　1/02
Ｇ１１Ｂ　7/24　５１６
Ｇ１１Ｂ　7/24　５２２Ｌ
Ｇ０３Ｈ　1/26

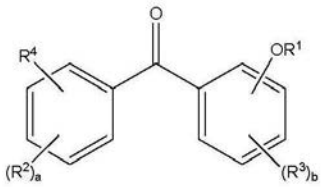
【手続補正書】
【提出日】平成27年6月19日(2015.6.19)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
ホログラフィックデータを光データ記憶媒体に記録する方法であって、
（ｉ）（ａ）熱可塑性ポリマーマトリックスと（ｂ）潜酸発生剤と（ｃ）逐次的２光子吸収非線形増感剤と（ｄ）潜発色団とを含む反応体を含有する光データ記憶媒体を用意する工程、
（ｉｉ）干渉パターンで光データ記憶媒体のボクセルを照射して、非線形増感剤による逐次的２光子吸収を起こす工程、
（ｉｉｉ）非線形増感剤から潜酸発生剤への上方三重項エネルギー移動によって、酸を発生させる工程、
（ｉｖ）少なくとも１つの潜発色団を発生した酸と反応させて少なくとも１つの発色団を形成し、もってボクセル内部で屈折率変化を生じさせる工程、及び
（ｖ）干渉パターンに対応する屈折率変動を照射ボクセル内部で生じさせ、もって光学的に読取可能なデータを作り出す工程
を含んでおり、前記干渉パターンが、上方三重項エネルギー移動を起こすのに十分な波長及び強度を有する入射光を含んでおり、潜酸発生剤が入射光に対して実質的に非応答性である、方法。
【請求項２】
工程（ｉｖ）で、複数の潜発色団を発生した酸それぞれと反応させて複数の発色団を形成する、請求項１記載の方法。
【請求項３】
入射光が３６０ｎｍ～５００ｎｍの範囲の波長及び閾値を超える強度を有する、請求項１又は請求項２記載の方法。
【請求項４】

入射光が約４０５ｎｍの波長を有する、請求項１乃至請求項３のいずれか１項記載の方法。

【請求項５】

潜発色団が構造式（Ｉ）で表される部分を含む、請求項１乃至請求項４のいずれか１項記載の方法。

【化１】

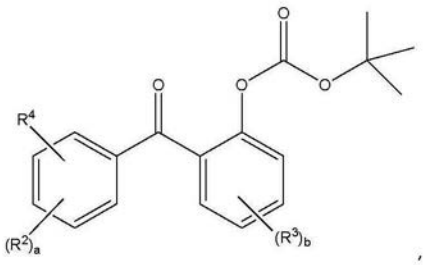
(I) 

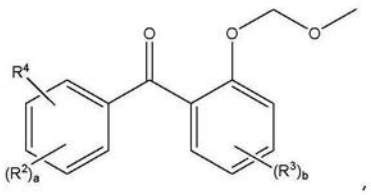
式中、ａは１～５の整数であり、ｂは１～４の整数であり、R^1は保護基であり、R^2及びR^3は各々独立に水素、ハロゲン、C_1-C_{20}脂肪族基、C_3-C_{20}脂環式基又はC_2-C_{30}芳香族基であり、R^4は水素又はＯR^1である。

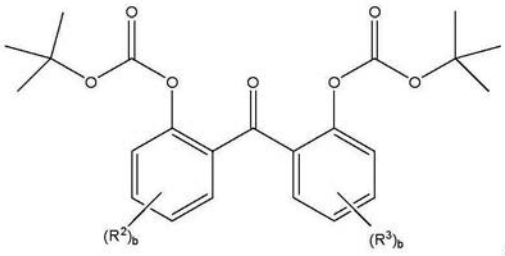
【請求項６】

潜発色団が下記構造式で表される部分を含む、請求項１乃至請求項４のいずれか１項記載の方法。

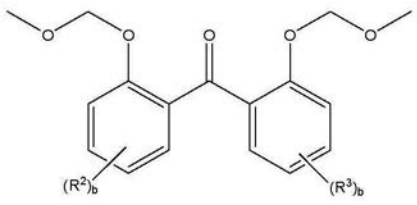
【化２】

(II) 

(III) 

(IV) 

，又は

(V) 

式中、ａは１～５の整数であり、ｂは１～４の整数であり、R^1は保護基であり、R^2及び

R^3は各々独立に水素、ハロゲン、C_1－C_{20}脂肪族基、C_3－C_{20}脂環式基又はC_2－C_{30}芳香族基であり、R^4は水素又はOR^1である。

【請求項７】

非線形増感剤が白金エチニル錯体を含む、請求項１乃至請求項６のいずれか１項記載の方法。

【請求項８】

光データ記憶媒体であって、

（ａ）熱可塑性ポリマーマトリックスと、

（ｂ）逐次的２光子吸収非線形増感剤であって、該非線形増感剤による逐次的２光子吸収を起こすのに十分な波長と強度を有する入射光を吸収することができる逐次的２光子吸収非線形増感剤と、

（ｂ）非線形増感剤からの上方三重項エネルギー移動の際に酸を発生することができる潜酸発生剤であって、入射光に対して実質的に非応答性である潜酸発生剤と

（ｄ）潜発色団を含む反応体と

を含んでおり、少なくとも１つの潜発色団が発生した酸と反応することにより少なくとも１つの発色団を形成し、もって光データ記憶媒体中で屈折率変化を生じさせることができる、光データ記憶媒体。

【請求項９】

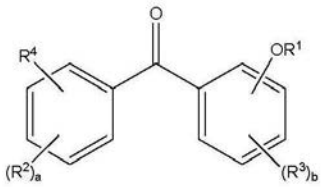
複数の潜発色団が発生した酸毎に複数の発色団を形成することができる、請求項８記載の光データ記憶媒体。

【請求項１０】

潜発色団が構造式（Ｉ）で表される部分を含む、請求項８又は請求項９記載の光データ記憶媒体。

【化３】

(I)



式中、ａは１～５の整数であり、ｂは１～４の整数であり、R^1は保護基であり、R^2及びR^3は各々独立に水素、ハロゲン、C_1－C_{20}脂肪族基、C_3－C_{20}脂環式基又はC_2－C_{30}芳香族基であり、R^4は水素又はOR^1である。